

# 代表 1

受 令和 3 年 2 月 24 日  
付 (午前)・午後 9 時 00 分

一般質問 (代表) 個人) 通告書

令和 3 年 2 月 24 日

尾張旭市議会議長 殿

市民クラブ

氏 名 櫻井直樹

尾張旭市議会会議規則第 50 条第 1 項の規定により 3 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 4 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項 (大項目) ごとの一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1 回目から 質問事項 (大項目) ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質問事項 No. 1	公共施設の未来について
要 旨	<p>平成 29 年 3 月に「尾張旭市公共施設等総合管理計画」が策定され、2017 年度から 2056 年度まで、今後 40 年間の計画が出されました。今後、多くの公共施設等で老朽化が進行し、建替えや大規模改修が必要になると予想され、建替えや大規模改修にかかる費用（更新費用）と時期を把握し、公共施設等の更新の在り方を検討する必要があるとされています。</p> <p>その中で、市民から新築要望の強い総合体育館、市立図書館、市民プールについては、総合体育館は築 43 年、市立図書館は築 40 年、市民プールは築 42 年が経過しており、10 年後には、築 50 年以上の建築物になります。</p> <p>そこで、これらの公共施設の未来について、以下の 3 点について答弁を求めます。</p> <p>(1) 総合体育館と市民プール新築計画について</p> <p>健康志向の高まりにより、スポーツをする人が増加しています。しかし、第五次総合計画の中間見直しでは、スポーツ施設・設備の満足度は、参考値 58.0%から後期基準値は 55.7%と減少しています。</p> <p>また、中間見直しでは「老朽化した施設の利用状況や管理コストなどを踏まえ、今後の施設の在り方について検討する必要があります。」と記載されています。今後の総合体育館、市民プール新築計画について伺います。</p> <p>(2) 市立図書館の新築計画について</p> <p>本市の人口規模、ニーズに見合う充実した図書館サービスが求められています。第五次総合計画の中間見直しでは、「ハード面の整備は、他の公共施設の設置・改修や財政状況を勘案して検討する。」とあります。図書館の設備・資料の満足度は、参考値 60.5%から後期基準値 58.9%と減少しています。パブリックコメントに寄せられた意見の概要と市の考え方では、新たに「(仮)新図書館のあり方構想」をつくることが明記されていますが、市立図書館の新築計画について伺います。</p> <p>(3) 公共施設等の更新と再編に向けての検討委員会設置について</p> <p>上記の公共施設だけではなく、建設から半世紀近く経過した公共施設は多く、今後、継続して維持・管理をしていくことも大きな経費が必要となります。また、継続するならいつまで継続して使用するのか。時代にあった公共施設の更新と再編成を行う必要があります。ニーズとコストなど、将来への負担を真剣に考え、対応すべき時期ではないかと考えます。公共施設の更新と再編検討のために検討委員会の設置について伺います。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。





